

平成30年度 全国学力調査・学習状況調査の各結果

(6年生対象) 本校の全体的な傾向 (※学校通信9月号外より)

本年度の各調査結果が、文科省HP(8月下旬)に公開されました。その趣旨や目的を踏まえながら、本校の全体的な傾向を公開し、更なる日々の授業方法の改善に全職員で努めて参ります。大山っ子一人一人の「将来の夢実現」のため、更なる「学校・家庭・地域で三者連携(トリプルプレー)」の合言葉でお願い致します。



日常の算数授業(2年生)

【学力調査】 参) A問は基礎的な知識・技能に関する問題そしてB問は知識・技能を活用する問題です

<p>国語A問は全国平均正答率よりやや下回るが「標準値」 【定着が弱い部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●敬語(いらっしゃる) ●主語と述語の関係 ●「積極」の漢字を書く 	<p>国語B問は全国平均正答率よりやや下回るが「標準値」 【定着が弱い部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●詳しく書く力 ●自分の考えを書く力 ●目的に応じて読む力 	<p>算数A問は全国平均正答率より上回る 【定着が弱い部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●単位量当たり大きさ ●円周率の意味 ●百分率(%)を求める 	<p>算数B問は全国平均正答率より上回る 【定着が弱い部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●棒グラフと帯グラフの2つから読み取り判断 ●根拠を明確に書く 	<p>理科問は全国平均正答率と同じ 【定着が弱い部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大雨実験結果を書く ●塩の蒸発結露を書く ●検流計の針と目盛り ●選んだわけを書く
---	---	--	--	--

【学習状況調査】

参) 上記の「標準値」とは全国平均値と変わらない到達範囲にある値です

<p>「自尊感情」は全国平均値より上回る【昨年度より改善へ】 ○継続案: 学校や家庭で児童を「ほめる」「励ます」「広げる」3H等</p>	<p>「規範意識」は全国平均値と同じ【昨年度より改善へ】 ○継続案: 集団におけるルールの意義をその都度、声かける等</p>	<p>「宿題や復習・予習」は全国平均値より上回る【昨年度より改善へ】 ○継続案: 授業と連動した課題の与え方の工夫や保護者のサイン等</p>	<p>「地域行事の参加」は全国平均値より大幅下回る【昨年度と同じ】 ◆対策案: 家族団らんの場で話し合い、積極的な参加に努める等</p>	<p>「新聞を読む」は全国平均をかなり下回る【昨年度と同じ】 ◆対策案: 家庭や教室で新聞記事に触れ社会の出来事に関心を持たせる等</p>
---	---	---	---	--

沖縄県学力到達度調査(2月20日実施、3~6年生対象)結果

各学年の全体的な状況について

去る2月20日(水)午前、県内公立小学校において本調査が、一斉に実施されました。3年生から6年生までが調査対象で、該当する各学年の「基礎基本的内容」と「それらを活用した内容」が出題されました。そこで、その趣旨や目的を踏まえ、本校児童の大まかな結果傾向を公開し、今後の「わかる授業の追求」に益々進めて参ります。なお、重ねて「毎週木曜日の朝読み聞かせボランティア」や「朝チャレンジタイムでの○付けボランティアの皆様方」に、厚くお礼を申し上げます。

【国語の調査結果】: 3年生、5年生のみ対象

3年生

5年生

<p>国語AB問(混合)は「県平均正答率をやや上回る」 【特筆すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「言語事項」が良い ○無回答率が県より半分で良い ▲「読む」問題が弱い 	<p>国語AB問(混合)は「県平均正答率を上回る」 【特筆すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「書く」問題が良い ○無回答率が県より半分で良い ▲「読む」問題が弱い
---	---



朝チャレンジの様子(3年生)

【算数の調査結果】: 3~6年生対象

3年生

4年生

5年生

6年生

<p>算数AB(混合問題)は「県平均正答率を上回る」 【特筆すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」が良い ○無回答率が県の4分の1良い ▲「図形」問題が弱い 	<p>算数AB(混合問題)は「県平均正答率を大きく上回る」 【特筆すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」が良い ○無回答率が0.1%で良い ▲「記述式」問題が弱い 	<p>算数AB問(混合)は「県平均正答率を大きく上回る」【特筆すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「選択式」問題が良い ○無回答率が県の2分の1 ▲「量と測定」問題が弱い 	<p>算数AB問(混合)は「県平均正答率と同じ」 【特筆すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○無回答率が県とほぼ同じ ▲「記述式」問題が弱い
--	---	--	--

【理科の調査結果】: 5年生のみ対象

5年生

<p>理科AB問(混合)は「県平均正答率を大きく上回る」 【特筆すべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空気、水、水蒸気などの「粒子領域」が良い ○無回答率が県とほぼ同じ ▲「エネルギー」の問題が弱い
